THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF
OSAKA NAKANOSHIMA
Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズウィメンズクラブ

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES (2016-2017)
国際会長主題：“Our Future Begins Today ”「私たちの未来は、今日から始まる」
アジア会長主題：“Respect Y’s Movement”「ワイズ運動を尊重しよう」
西日本区理事主題：ワイズ魂で　更なるワイズの活性化を
中西部部長主題：世界をみつめ、地域とあゆむ
クラブ会長主題：－響き合う心と心－　さらに

Monthly Bulletin
第 238 号
2016 年 11 月

聖書のことば
恵みをくださり、天からの雨を降らせて実りの季節を与え食物を施して、あなたがたの心を喜びで満たしてくださっているのです。
（信徒言行録 14 章 17 節）
選者　大岸　弘子

11 月第１例会プログラム

日時：2016 年 11 月９日（水）18：30～20：30
場所：ホテルグランヴィア大阪

司会　藤好　基子
1. 開会点鐘　杉浦眞喜子会長
2. ワイズソング
3. 聖句朗読　大岸　弘子
4. ゲスト・ビジター紹介　杉浦眞喜子会長
5. 連絡・報告・ニュース
6. 食前感謝＆食事
7. 卓話 ***「自分を語る、そしてわかり合う」***
稲垣　昌子さん
（関西いのちの電話　スーパーバイザー）
8. お誕生祝い
9. YMCA の歌
10. 閉会点鐘　杉浦眞喜子会長

例会当番（A）　受付当番（D）

稲垣　昌子（いながき　しょうこ）さんプロフィール
1952 年生まれ。
日本キリスト教団和歌山教会所属
自営業の傍らボランティアとして「関西いのちの電話」にかかわる。相談員歴 32 年、グループリーダー歴 25 年。
社会福祉を学び、聖マーガレット・キリスト教生涯教育研究所や南山短大人間関係科等で社会人や学生とグループワークの体験を重ねグループ・ファシリテートを学ぶ。

10 月例会報告

小鼓の魅力

大橋　昌美

10 月 12 日（水）の 10 月例会は「小鼓の魅力」ということで、日本でも珍しい女性能楽師の高橋奈王子さんのお話と小鼓の演奏でした。

高橋先生の凛々しい袴姿と魅力的なハスキーボイスで率直に「かっこいい!!」と思いました。そしてなぜ能楽師に？と思っていましたが、ご説明で先生は特にご家庭が能にご関係があったのでもなく、大学時の日本伝統芸能への出会いにより能楽師になられたということでした。

小鼓と言えば、一番親しみがあるのがお雛様の５人囃子です。その一つに小鼓がありますが、小鼓は能のほかにも歌舞伎、狂言、民謡などで演奏されており、間の取り方などがそれぞれ異なりすべて専門で演奏されているそうです。

まずは、先生の演奏。今回は出囃子で「一セイ」という一部分を演奏くださいました。実際は大鼓、太鼓、笛もいっしょに演奏されます。心に響く音色と先生の素敵なお声でみなさんうっとりとしていました。小鼓は演奏しないときはバラバラな状態で、舞台に出るときにセッティングをします。

〈次頁に続く〉

10　月　統　計		
第１例会出席者数	例会出席率	Ｂ Ｆ 統 計
メンバー　16 名	出席者　16 名	日本　290ｇ　累計　2471ｇ
ビジター　2名	メイキャップ　1名	外国　ｇ　累計　95g
ゲスト　4名	合　計　17 名	現金　円　累計　円
コメット　1名	在籍者　20 名	提供者：今井、桑原、杉浦、武井
合　計　23 名	出席率　85%	藤好、保田、吉田

みなさんバラバラな状態の小鼓にびっくりでした。胴、革（打つところ）、緒にわかれており、胴の周りは小鼓によって様々な趣向の蒔絵が施されているようです。小鼓はお天気、特に湿度に左右されるようで音色を出すにもいろいろとご苦労があるようです。

小鼓はその打ち方の強弱により様々な場面を表現し演奏しており、実際に違いを演奏くださり実感することができました。また演出や演者、そしてお客様の会場の雰囲気によってもその時々で違っているようで、そこに能の面白さがあるのだと知りました。

わたくし事ですが、能の舞台も小鼓の演奏も生で聞いたこともなく、能の世界についても無知な状態でしたが、お話を伺い能や小鼓の魅力が伝わり、ぜひ実際に能を観賞てしみたいと感じる例会でした。

チャリティーラン2016

吉田　由美

台風の過ぎ去った、しかし秋雨前線による曇り空に少しだけ太陽が顔を覗かせた９月 22 日（木）秋分の日に、鶴見緑地にて『チャリティーラン 2016』が開催されました。例年よりも時期的に早く、雨上りの草地からはムッとした熱気が上がってきて、嫌な蚊も発生し、参加する沢山の子供達の中には、可愛そうに蚊の襲撃を受けている子も見受けられました。とは言え、赤とんぼがそこここに飛んでおり、目に映る秋の気配は涼しさも伴っているようでした。

毎年のチャリティーランで期待することは、全速力でグラウンドを駈ける事など忘れてしまった私達に代わって走ってくださる人達を、大声を張り上げて応援し、出走者から若さや元気を頂く事です。顔見知りのリーダーやワイズの顔を見つけると興奮は最高潮に達し、声を限りに全身を使っての応援は日頃嘆いている膝や腰の痛みを忘れさせてくれます。この日だけは『明日から運動を始めようかな！』と決心しますが、なかなか実行に移すことは今まで出来ていません。

なかのしまが担当した抽選券の販売と当選商品の配布は、長年行っており慣れたもので、問題もなく作業を進めることが出来ました。でもなんと！　この最後の抽選会で４等の『紀泉わいわい村宿泊券』が私に当たったのです！　様々なイベントに抽選はつきものですが、未だかつて末等以外当たった事が無く、くじ運の悪さを自嘲気味に自慢していたのに……どんな所かしら？　誰を誘おうかしら？　何時行こうかしら？　もう興奮は最高潮。今回のチャリティーランは今までとは違ったラッキーなイベントとなりました。

末等しか当たらなかった皆さま、来年に期待してくださいね。きっと素晴らしい商品が当たる……かも知れません。

新入会員自己紹介

瀬島　恵子

９月にゲストから昇格し「大阪なかのしまワイズメンズクラブ」の正会員になりました。

会への始まりは２年前ギルグ先生が来阪された時、従姉妹と一緒に参加しました。従姉妹は学生時代寮生活だったため、先生と親しくさせて頂いていて、神奈川から飛んで来ました。久しぶりの先生との再会で楽しそうな顔をしているのを見ることが出来て、私も嬉しくなりました。

そんな繋がりの中で私も例会に誘って戴くようになりました。とても嬉しかったのは多くの兄姉とともに食卓を囲み、美味しい食事と卓話で時間を過ごせたからです。

昨年、主人が神様の許に旅立ち一人の生活になりました。ある時病室での会話の中で、何処から仕入れたのか「きょういく」と「きょうよう」が大事だと話してくれました。「今日行くところがある」「今日用事がある」普段から出好きな私ですが、一人の生活に耐えられるのかを気にしてくれていた事を覚えて、これからは与えられた命を大切にし、何もわかってない私ですが皆さんと繋がっていきたいと思っています。我が儘な私ですが、よろしくお願いします。

アトリエゆうハウス BBQ イベント　支援と交流

杉浦　*眞喜子*

六甲山 YMCA をみんなに利用して欲しいという思いと、以前中井先生のお話をお聞きして以来、アトリエゆうハウスにも何か関わることができないだろうかという思い、ちょっと勝手な私の二つの思いが実現できました。

９月 21 日、六甲山 YMCA でのアトリエゆうハウスの BBQ イベントをサポートさせて頂くと共に、私たちもそこに参加させて頂き、交流しようということで、なかのしまメンバーも六甲山へ。

山上は生憎の雨でしたが、クラフトルームの軒下で、火を起こし、お肉を焼いて、お野菜を焼いて……。焼くのをお手伝いする人、いろいろなポーズの自分をひたすらカメラに収める人、運び役をする人、食べる専門の人……、ゆうハウスのメンバーの方々は様々ですがみんな一生懸命です。そんな彼らと共に私たちも働き、美味しく BBQ を楽しみました。

満腹した後ちょっとだけみんなで歌ってみました。体を揺すって元気に歌ってくださる方々、共に歌いながら、涙が出そうになってしまいました。一緒にいることの嬉しさを感じることのできたひと時でした。なかのしまからの参加者は、今井、大岸、国友、瀬島、武井、保田、杉浦の７名でした。

なかのしまの 20 年

杉浦　眞喜子

5. クラブの外へ

1997 年２月にチャーターした我がなかのしまクラブは、ほとんどのメンバーがワイズ未経験、手探り状態でのクラブライフ開始でしたので、クラブの中の交わりで精一杯、クラブが部、区、さらに国際にまでつながっていることを知識として知っていても、それを実感することなどありませんでした。従って他クラブへの訪問などほとんどなく、国際大会は勿論、部会、区大会へも限られたメンバーだけが参加するという状態でした。

それが変わり始めたのは、2003-04 年度、私が中西部長を引き受けた頃からです。部長公式訪問には、毎回なかのしまメンバーが同行してくれました。「クラブみんなで支えて下さるなら……」との部長を引受ける時の私の言葉を、真面目ななかのしまのメンバーは、しっかり実行したのです。また中西部会のホストも大きな仕事でしたが、自分たちが「中西部」の一員であることを意識する大事な機会となりました。

その後、2005 - 06 年度にギルグさんがファンド事業主任に、2008 - 09 年度に私が地域奉仕・環境事業主任を務めますが、そのことで、みんなの意識がクラブから部、そして区全体へ届くようになっていきました。

2003 年転入会してこられた今井利子さんは、ワイズ暦の長い大ベテランで私たちにワイズの基本を示して下さいましたが、特に「他クラブ訪問」については自他共に認める達人！　事情が許す限り色々なクラブに出席し、交流を深めておられます。何もないのに、よそのクラブを訪問するなどという発想の全くなかった私たちに、他クラブ訪問の面白さ、交流の楽しさを知らしめて下さいました。

台中エバーレインボークラブとの IBC（1999 年）、東京たんぽぽクラブ（2001 年）、京都トゥービークラブ（2008 年）との DBC も、私たちに「クラブの外での仲間」を意識させてくれました。国際大会、アジア大会でレインボーの方々に会えば、嬉しくて手を取り合い、たんぽぽさん、トゥービーさんとは、それぞれなかのしまらしいいいお付き合いをしっかり続け、いい仲間になれているように思います。

2012-13 年度には、江見さんが、部長を引き受けますが、この頃はもうみんなクラブの外のことにもしっかり対応できるようになっています。クラブみんなで部長をサポートし、特に東日本大震災復興支援プログラム「わいわい祭り」では、自他共に認める大きな働きをし、中西部をリードする存在になっていました。

2013 - 14 年度には生雲さんが地域奉仕・環境事業主任をなさり、次期 2017 - 18 年度には吉田さんが同じく地域奉仕・環境事業主任をなさることになっています。また、生雲さんは昨年から西日本区事務所員として、また鳥居さんは LD 委員として活躍しています。今は、このように西日本区へ優秀な人材を提供できるほどの「なかのしまクラブ」です。

さらにもう一つ特筆すべきは、昨年度第 18 回の西日本区大会を、吉田さんを実行委員長として、西クラブと一緒にホストし、成功させたこと。なかのしまの名を外に印象付ける機会になりました。

コメットに手を引かれて

武井　和子

六甲 YMCA での BBQ

アトリエゆうハウスのメンバーとともに、六甲 YMCA での BBQ を楽しみにしている美帆は、台風 16 号の進路が気がかりで、テレビの天気予報をチェツクして「大丈夫かな！　大丈夫かな！」の連発で、私は少しイライラし爆発寸前でしたが、美帆が心から、なかのしまクラブの皆さんのご厚意に感謝し、待ちわびている気持が伝わり、素直な彼女の心に脱帽です。

９月 21 日台風一過の秋晴れではありませんが、美帆の願いが届いたのか天候が回復したと思いましたが……、阪急六甲駅で車３台に分乗して、緑の美しい六甲 YMCA へドライブ。ゆうハウスの方々は、もうすでに私たちより早く到着して賑やかに雑談している声が聞こえてきました。

メイングランドへの階段を下っていると、雨が降り出しました。野外で思いきり動きまわって、楽しんで欲しかったのに残念と思いつつ、クラフトルームでの BBQ に変更。でもメンバーは歓声をあげて楽しそうです。

早速３台のコンロに火を熾しますが、これがなかなか難しい！　頼もしい助っ人の登場です。なかのしまクラブのお姉さん達？　流石に上手でした。飯ごうでごはんを炊き、真っ黒に焦げてしまいましたが、おこげが美味しくて残さずいただきました。勿論用意して下さったお肉等も完食です。

食後、子供讃美歌を杉浦さんと保田さんの指導で唄いました。おそらく初めて唄った讃美歌だと思います。「神さまに感謝しましょう」でも１度歌っただけで、２回目から大きな声でハレルヤ、ハレルヤと唄って、私は天使の声が地上に降りてきたように感じました。自然豊かな六甲山で親睦と交流を深める事が出来ました。改めて、なかのしまクラブの皆様の心温まるご厚意に感謝いたします。

また機会があれば、天候に恵まれた日にゆうハウスのメンバーと私達クラブ員が、YMCA の広大な敷地でおもいきり遊びたいと思います。楽しかったと美帆が感激していました。雨が降っていても喜びに溢れた一日でした。皆さんありがとう！

YMCA ニュース

☆第 283 回　早天祈祷会

日時：2016 年 11 月 18 日(金)7:30～8:30
証し：藤田　りかさん
（大阪 YMCA 国際専門学校日本語学科　スタッフ）
場所…大阪ＹＭＣＡ会館　10 階チャペル

☆大阪 YMCA 大会 2016

日時：2016 年 11 月 23 日（水・祝）
場所：大阪ＹＭＣＡ会館（土佐堀）
●Ｙアクターフォーラム　10：00～12：00　９階
●Ｙアクショングループ代表者会議　12：00～13：20　３階
●Ｙボランティアの集い　13：30～15：30　２階

今年も残りわずかとなりました。本当に一年が経つのは早いと感じます。冬になる前の少しの間のこの鮮やかな紅葉の季節を楽しみたいですね。　大橋昌美

◇11 月お誕生日の方◇　*Happy Birthday*
国友　朝子　　４日　　生雲　文枝　　19 日

ニコニコ献金　10月　19,815円

〈ニコニコメッセージ〉―　10月例会　―

☆今日はありがとうございます。楽しい時を過ごさせていただき感謝です。（ゲスト：小林美香）

☆初めて参加させて頂きました。ま近で興味深いお話を聞くことが出来ました。（ゲスト：中村やす子）

☆講師の高橋奈王子さんの師匠の久田舜一郎さんとは、どういう訳かとあるバーでの飲み友達です。（ゲスト：藤好　洋）

☆久し振りに皆様にお会い出来て嬉しいでした。小鼓を打たれるのを目の当たりにして、とても興味深い時間を過ごす事が出来ました。（芦屋クラブ：桑野友子）

☆お陰様で身体の方は元気に例会に参加させて頂きました。しかし、年齢のせいで頭脳の方がいささかボケ気味のまま時間が過ぎております。（大阪センテニアルクラブ：山田孝彦）

☆今月は例会で中々味わえない小鼓の演奏、それも珍しい女性奏者、秋の夜長の優雅な夕べを味わえそう。貴重な古典芸能を大切にしたいです。（今井）

☆小鼓のソロ演奏を聴くのは初めて。５本指で打つ強弱の音色、微妙な響きと間の声（語り）から、とても不思議な感覚の時、新鮮でした。（大岸）

☆初めての小鼓の生演奏は本当に素敵でした。知らなかった能や小鼓のお話は新鮮で面白かったです。日本の伝統芸能は本当に奥が深いですね。（大橋）

☆高橋奈王子さんを全く存じ上げないのに飛び込みで講師をお願いしたのです。期待通りの素晴らしい例会になりました。同じお囃子でも打ち方によって男女のちがいを表現するとのこと。微妙な音色が想像力をかきたてます。「葵上」はぜひ能楽堂で実感したいものです！（国友）

☆扇風機とストーブが出ています。秋の気配があるようなないような、いい季節が少なくなって寂しい。何でもいいものがなくなっていくのは遺憾です。（桑原）

☆やっと涼しくなって、私の大好きな「カナダの夏、ミャンマーの冬」的な気候です。でも今年は金木犀が香らない、どうしてでしょう？（杉浦）

☆日本の伝統芸能は奥が深いですね。歌舞伎で小鼓等は、観たり聴いたりしましたが、お能の打ち方が、違うとは知りませんでした。黒紋付きと袴姿素敵でした。（武井和子）

☆六甲のバーベキューとても楽しかったです。（武井美帆）

☆今日から大きな顔をして参加しました。まだまだ何をして良いのかわからないけど、一日も早く仲間として働きたいです。（瀬島）

☆今月は、友人をお招きしての例会です。いつも以上にフレンドリーでアットホームな気分になりました。（鳥居）

☆小鼓のいい音色と高橋奈王子先生の言葉や節回しがとても心癒されました。（藤井）

☆黒紋付に着替えられた高橋さんは、キリッと能楽師のお顔になられました。美しい蒔絵に彩られた小鼓は、若い馬のお腹の皮を張った物だとか……「知らないことを知る」って楽しい！と実感した例会になりました。（藤好）

☆久し振りに例会に出席して「小鼓の魅力」高橋奈王子さんよりお話を聞く事ができ感謝です。（松下）

☆悲しいお知らせが続き、少し沈んでいましたが、「なかのしま」にきてホッと一息。この場がある幸せを感じています。（保田）

☆とさぼりカーニバルも間近か、着々と、ワクワクと、たくさんの方々のご協力で準備が進んでいます。ワイズのパワーと存在の大きさを、改めて実感です。（山佐）

☆10月中旬なのに最高気温が28度。でもいつもの散歩道で金木犀の香り。周りを探すと花が咲いていた。やっと秋が来たみたい。（吉岡）

☆尼崎市政100周年式典に尼崎市合唱団のメンバーとして参加しました。尼崎市は、私が生活する西宮市に比べて何倍も活気のあふれる元気な街だといつも思ってます。（吉田）

欠席者メッセージ

★急用が出来てお休みさせていただきました。（生雲）

★病気になって３カ月経ちました。体と脳トレの忙しい毎日です。90歳の美しいマダムや若者と食卓でいろんな話をします。その中で「85歳に戻りたい」が印象的でした。85歳できちんと主婦が出来ていた時が大事な時代だったとのことです。ウ～ンと考えさせられました。（江見）

10月第２例会報告抄

日時：2016年10月19日（水）18；30～20：30
場所：大阪YMCA　504号室
出席者：15名

この日16 時より、11月３日開催の土佐堀カーニバルへのバザー出品物の整理、値段付等を行った。

例会に先立ち、「表現コミュニケーション学科」のスタッフの方がチャリティーラン支援のお礼として、生徒さんからの寄書きメッセージを持って来られた。

1. 土佐堀カーニバルについて、全体の確認事項を山佐さんより、クラブ内の確認事項を保田さんより、それぞれ説明を受けた。
2. 「土佐堀クリスマスチャリティーコンサート」の協賛金１万円をニコニコ会計より支出することとした。
3. 「20周年記念祝会」について、以下のことを確認した。
   - 記念誌進捗状況
   - IBC 台中レインボークラブより届いたメッセージカードについて
   - OG の方々へお誘い状発送
   - 今後の「お誘い」について
   - グランドピアノ（調律付き）使用料が予算をかなりオーバーすることが分かったが、止むを得ないとして、了承された。

《《《　お知らせ　》》》

◎大谷節子さん（元メンバー）から献金を頂きました。感謝。

◎北村雅代さん（元メンバー）から20周年祝会のお祝いに献金とBF使用済み切手を頂きました。感謝。

編　集　後　記

最近、電車の優先座席に我が物顔で腰をかけている若者をよく見かけます。席を譲られて嫌な気持になる方もいらっしゃると思いますが、優先座席は老人優先であって欲しいものです。